

令和4年度事業報告書

樞原美容専門学校は、「県内で育て、県内で働く」ための職業（美容）教育に努め、「自主と責任」を校訓のもと、全国でも珍しい「組合立」の学校として56年の歴史を歩んできました。

2020年に、新型コロナウイルスが世界中で猛威を振るい、収束の兆しが見えない中、新種に変異したウイルスなどにより学校運営も様々な対策を講じてきました。しかし、令和4年度に举行された「卒業証書授与式」では、マスクを外して執り行われるなど「脱コロナ」が浸透してきました。

本校は、「昼間課程・通信課程・高等学校連携事業・委託訓練事業」の4つの教育事業を展開しています。「昼間課程」では、国家試験全員合格に向けた基礎・基本学習から、組合立としての強みを発揮する即戦力教育など、技能五輪全国大会入賞など各種大会への出場。

更に4年前に導入した「長期訓練事業（奈良県職業訓練）」も国家試験及び就職率100%を成し遂げる安定した教育システムの構築に成功しました。

また、「通信課程」では、産学連携による新たな教育環境が生まれ、求職者や他業種から美容業界を目指す学生が増えています。更に、年齢層も中学校卒業から氷河期と言われる40歳後半までの幅広い学生が、本校で美容師免許取得に向け力強く学んでいます。

「高等学校連携事業」では、奈良県立二階堂高等学校・三重県立あけぼの学園高等学校とのダブルスクール制度において、国家試験合格率が2年連続で飛躍的に向上した年でありました。改善に向け、高等学校の教職員のご支援も頂き、放課後の受験対策授業など新たな支援策が成果として残せました。

そして、「委託訓練事業」では、奈良県委託訓練・求職者訓練を実施致しました。コロナや社会の状況により、入所者の求める環境や目標が著しく変化をしました。また、ネットにより求職支援制度の拡大解釈の拡散があり、再就職を目指す本事業の継続が難しい事態となっています。（全国的に多くの訓練校で発生している事案です。）今後は、今まで以上に職業安定所及び奈良県様と密に連絡を取り、問題解決に努めて参ります。

学校の施設の老朽化対策についてのご報告ですが、漏水等の発生した新校舎の屋根・壁面の塗装補修を実施するとともに、時代のニーズに対応するため和式トイレの洋式化・ウォッシュレット化を全面（12基）実施しました。

最後に、全国に約二百六十校ある美容師養成施設のうち、本校は「組合立」としての伝統と歴史を守り、高い技能教育を実施しています。今後も「組合立」としての役割と責任を全教職員が自覚し、設立者である組合員の皆様方と連携を図り、将来の美容業を担う美容師の育成、そして「樞美」の愛称と伝統を守れるよう努力を重ねたいと思います。引き続きご指導を賜りますようお願い申し上げます。

令和5年度樫原美容専門学校事業計画（案）

（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

（教育目標）

- ◎ 教育指針の明確化 = 「即戦力と国家試験全員合格」 = 教育力の向上
- ◎ 学校経営の戦略化 = 「生涯教育の組織化と運用方法」 = マネージメント
- ◎ 教育商品の多様化 = 「脱コロナ社会からの新活動」 = 挑戦する学校創り

日本で2020年1月に感染が確認された「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）」。
この出来事により、社会全体の構造や認識が変化し「新しい生活様式」が誕生しました。

この「新しい生活様式」とは、縮小や継続による構造で成り立つものが数多く、保守的な一面と、無駄をなくしたスマートな側面を持っています。また、本校でも同様に、制限された環境の中、「自粛」の言葉により様々な活動が中止されてきました。

令和5年度における本校の目標は、第1に美容師としての「即戦力」にあり、「国家試験合格」は、そのプロセスにおける必須項目の一つとして捉えることとさせていただきます。

本校では、「昼間課程」「通信課程」「高等学校連携事業」「委託訓練事業」の4事業から構成され、組合立である役割を担うとともに、地域での専門学校の学生としての社会貢献に努めて参ります。

具体的には、生涯教育の概念に立ち、学生全体の40%までを学び直しの場としての環境整備を構築します。現在、稼働している「職業訓練事業（委託訓練・求職者訓練）」を軸に設立者である奈良県美容業生活衛生同業組合の皆様方にお力添えを頂き、即戦力をテーマに展開をして参ります。

専門学校の教育の場も少子化とコロナにより大きく変化し、GIGA教育は、急速に定着をしました。高等学校までの子どもたちは、コンピューターを利用した学習システムを日常的に利用し、全ての情報が管理されています。また、大学・短期大学でも同様のシステムを使い、自宅学習も可能になっています。しかし、専門学校では、未だ着手が出来ていない状況にあります。本校では、通信課程で導入されているeラーニングシステムを昼間課程や新しい活動に対応出来るよう整備を進めます。

最後に、奈良県に育った子どもたちが、奈良県で学び、奈良県で働く環境整備と美容業界の発展に寄与できる職業人の教育を目指し、「組合立」として半世紀以上が経った「樫原美容専門学校」をこれからも、日々進化した学校として邁進して参りますので、何卒ご理解とご協力の程、よろしくお願い申し上げます。